



NEWS RELEASE

2026.10.27

日本最適化栄養食協会がフードテック官民協議会 第2回総会/提案・報告会で「栄養食品ワーキングチーム」の発足を宣言

一般社団法人 日本最適化栄養食協会（理事長：伊藤裕）は、2026 年 10 月 19 日（月）に Tokyo Innovation Base（東京都千代田区）で開催されたフードテック官民協議会 第2回総会/提案・報告会において、「栄養食品ワーキングチーム」の発足を宣言いたしました。あわせて、会場内の展示ブースにて“最適化栄養食”の展示およびサンプリングを実施しました。

産学官の知見を結集し、急拡大する市場の共通基盤整備と国際標準化をリード



「栄養食品ワーキングチーム」発足について説明する様子



“最適化栄養食”に関する説明を受ける森下政務官

一般社団法人 日本最適化栄養食協会は、2026 年 10 月 19 日（月）に Tokyo Innovation Base で開催されたフードテック官民協議会 第2回総会/提案・報告会に登壇し、「栄養食品ワーキングチームの発足」について説明しました。

食と主観的ウェルビーイングの間に強い相関がある国際調査データを提示。中高年の肥満や若年女性の低栄養、高齢者のフレイルといった「栄養不良の二重負荷」が進む中、日常の食事を通じた未病段階で、栄養バランスを整えることの重要性を訴えました。

さらに、完全栄養食市場が急成長する一方、統一規格が存在せず各社各様の基準で事業が展開されている現状を指摘。消費者の混乱を防ぎ市場の健全な発展を促す「共通ルール」の整備が不可欠であると、産学官の知見を結集して日本主導の国際標準策定を目指すことを説明。

あわせて会場内の特設ブースでは、“最適化栄養食”の紹介や認証製品のサンプリングを実施。主要な栄養素のバランスが適切に調整されたフードテックの実装事例として、多くの来場者から高い関心が寄せられました。

当協会は今後も、「栄養食品ワーキングチーム」の活動等を通じて、多様なステークホルダーとともに食と健康に関わる社会課題の解決を目指してまいります。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」について

1. 目的

年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整された食を通じ、人々のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）に資することを目的として、次の事業を行う。

2. 事業内容

- (1) “最適化栄養食” 及びその評価に関する規格化
- (2) “最適化栄養食” の栄養設計基準登録、製品認証
- (3) “最適化栄養食” に関する調査研究
- (4) “最適化栄養食” の普及に関する活動
- (5) 前各号に掲げるもののほか、当協会の目的を達成するために必要な事業

■“最適化栄養食” とは

“最適化栄養食” とは、年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整されていて、ターゲットとする対象者における健康に与える影響がヒト試験などで検証された食です。日本最適化栄養食協会では“最適化栄養食” の栄養設計を登録し、製品認証を行ってきました。2023 年 7 月に初めて“最適化栄養食” の認証がされて以来、認証製品累計出荷数は 5400 万食を突破^{*1} しました。

■“最適化栄養食” 認証マークについて

“最適化栄養食” 認証マークは、当協会に登録された栄養設計基準を過不足なく満たすことのできた製品にのみ付与されます。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」ウェブサイト

[URL] <https://www.saiteki-eiyo.org>

*1 2023 年 7 月 3 日～2026 年 3 月 31 日の「最適化栄養食協会認証製品」の累計出荷数から算出（当協会調べ）

このリリースに関するお問い合わせ先

「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」
東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 50 番 11 号
contact@saiteki-eiyo.org